

国際交流活動について

関根 孝次*

On International Exchange Activities

Koji SEKINE

Abstract — National Institute of Technology, Kushiro College has accepted exchange students from Turku University of Applied Science(TUAS) and King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang (KMITL) in this year. International students were assigned to the laboratory of the major department, tackled the research theme given, and presented their research results. In addition, Kushiro College dispatched students to KMITL, Thai-Nichi Institute of Technology and TUAS. International exchange is an exchange activity that gives students mutual understanding and motivation to turn their eyes to abroad and is considered effective as an opportunity to study international sense.

Key words : International Exchange, Study Abroad, International Sense

1. はじめに

今年度、本校ではフィンランドのトゥルク応用科学大学 (TUAS : Turku University of Applied Science) およびタイのキングモンクット工科大学ラカバン校 (KMITL : King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang) より交換留学生を受け入れた。TUASからは男子3名および女子1名の計4名 (3ヶ月間)、KMITLからは男子5名 (1ヶ月間) が釧路に滞在した。留学生は専攻学科の研究室に配属され、与えられた研究テーマに取り組み、報告会において各自の研究成果を発表した。研究活動の他に、釧路市長への表敬訪問や阿寒湖への市内研修を通じて地域文化に触れる機会を得、北大訪問ではキャンパスツアーや施設見学、プレゼンテーションを通じて留学生同志の交流を図った。また、今年度の本校からの派遣留学生は、KMITL (4名)、泰日工業大学 (6名) およびTUAS (1名) であった。

留学を通じた国際交流は、相互の学生に対して異文化理解や海外に目を向ける動機を与える交流活動であり、国際感覚を研鑽する機会として有効なものと考えられる。

2. 受入留学生について

TUAS留学生は4月16日～7月10日 (男子3名) および7月11日 (女子1名)、KMITL学生は6月1日～6月29日の期間において研修を実施した。主な活動を次節に記す。

2.1 TUAS留学生の受入れ

- 4月16日 留学生来釧, 入寮手続き
- 4月17日 本校施設 (図書館, 体育館, 食堂, 保健室, 寮等) の利用, 日常生活の諸注意および研修概要と報告書等に関するガイダンスを実施
- 4月18日 市内案内 (量販店, 市場, 釧路駅, 観光施設)
- 4月25日 釧路市長表敬訪問

2.2 KMITL留学生の受入れ

- 6月1日 留学生来釧, 入寮手続き, 本校施設の利用と日常生活の諸注意および研修概要に関するガイダンスを実施
- 6月2日 市内案内 (量販店, 市場, 釧路駅, 観光施設)
- 6月4日 釧路市長表敬訪問 (留学生よりムエタイの銅像を贈呈)

* 釧路高専 創造工学科 機械工学分野

2.3 北大訪問

6月7日～6月10の期間、TUAS留学生4名およびKMITL留学生5名が北海道大学工学部（札幌市）を訪問し、キャンパスツアーの他、工学部の施設見学および各校の留学生によるプレゼンテーションを通じて留学生同志の交流を図った。また、北大訪問後、札幌市で開催された「YOSAKOIソーラン祭り」を見学した。



図1 北大キャンパスツアー



図2 TUAS留学生によるプレゼンテーション



図3 北大工学部の施設見学

2.4 特別授業

留学生は以下の日程で特別授業に参加し、日本文化について学んだ。また、TUAS留学生が1年生に向けてフィンランドを紹介し、本校学生との交流を深めた。

- 6月18日 華道（日本文化のひとつである華道を体験）
- 6月19日 日本のうた（「ふるさと」を紹介）
- 6月21日 書道入門（毛筆で漢字を書く）
- 6月25日 現代社会（TUAS留学生による特別講演）
- 6月25日 茶道（日本文化のひとつである茶道を体験）



図4 特別授業（華道）



図5 特別授業（書道）



図6 特別授業（茶道）

2.5 市内研修

6月16日、阿寒湖畔の観光名所（阿寒湖遊覧船、ポケ見学等）を巡る市内研修を実施した。TUASおよびKMITL留学生の他、本校の留学生12名および教職員4名の計25名が参加した。参加した留学生は、アイヌコタン等の見学を通してアイヌ文化や釧路の歴史に触れる機会を得た。



図7 市内研修（アイヌコタン）



図8 市内研修（阿寒湖畔）

2.6 成果報告会

以下の日程でKMITLおよびTUAS留学生による成果報告会を実施し、各留学生は日常の活動および研究成果について発表を行った。

6月28日 KMITL留学生による成果報告

7月 9日 TUAS留学生による成果報告

KMITL留学生は情報工学、機械工学、電気工学、電子工学および建築学分野の各研究室において実施した研究成果を報告し、TUAS留学生は情報工学、電気工学および電子工学分野において実施した研究成果（スピーカシステム、JavaScriptを利用したアプリケーションの開発等）について発表した。



図9 KMITL留学生による成果報告

3. 派遣留学生について

今年度、本校から建築学科4年生（1名）、機械工学科5年生（2名）、専攻科電子情報システム工学専攻1年生（1名）の計4名が8月14日～9月7日の期間、KMITL（タイ、バンコク市）において研修を実施した。また、創造工学科3年生（1名）、情報工学科4年生（1名）および電気工学科4年生（2名）の計4名が8月13日～9月7日の期間、泰日工業大学（タイ、バンコク市）において研修を行った。さらに、創造工学科2年生（2名）が8月23日～9月3日の期間、泰日工業大学が主催するサマー

プログラム研修へ参加した。タイ以外の派遣留学としては、専攻科建設・生産システム工学専攻1年生（1名）が8月24日～11月21日の期間、フィンランドのトゥルク応用科学大学において研修を実施している。

タイ派遣留学生（10名）に関しては、11月5日に成果報告会が実施された。派遣学生は各々が感じた文化や生活習慣の違いについて触れ、各大学において実施された研究や観光プログラムの紹介を含め充実した研修内容が報告された。

4. ISATE2018参加報告

9月18日～9月21日の期間、香港サイエンスパークおよび香港專業教育學院（IVE）において国際シンポジウムISATE2018（The 12th International Symposium on Advances in Technology Education）が開催され、本校より著者が参加した。キャンパスツアーを初め、基調講演、パラレルセッションおよびワークショップ等が実施された。アジア諸国を初めとして欧米の教育関係者による参加もみられ、本シンポジウムを通してアジア並びに欧米における技術系教育機関の取組が紹介された。



図10 パラレルセッション

5. おわりに

本報では、本校における平成30年度の主な国際交流活動を記した。今年度、受入留学生9名に対して派遣留学生は11名であり、派遣留学生数が受入留学生数を超える結果となった。この要因としては、高学年（4年生以上）に留まらず、低学年（1～3年生）における海外への関心・意識の向上が伺える。また、留学活動の背景には、JASSO奨学金をはじめとする資金支援、保護者の支援および国際交流関係スタッフの指導・サポートが陰に陽に助力となっている。学生諸氏に対しては、国際感覚の研鑽に努めるべく、本校との協定校への留学をはじめとして、文部科学省等が展開する留学制度に関しても有効に活用することを期待したい。